

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2025/9/1

~

2025/9/7

発 令 中 の 注 意 報	県 全 体	〈警報〉	伝染性紅斑	〈注意報〉	なし
	各 保 健 所	警報	中部保健所：伝染性紅斑 那覇市保健所：急性出血性結膜炎 南部保健所：流行性角結膜炎 八重山保健所：伝染性紅斑		
		注意報	中部保健所：なし 八重山保健所：水痘		

『伝染性紅斑（リンゴ病）』【警報発令中】

○感染経路：飛沫感染、接触感染

頬に発しんが出現する7～10日くらい前に、微熱やかぜのような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。

○主な症状：

約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失します。

○感染対策：手洗い、マスク着用などの咳エチケットの実施

紅斑が出ている時期にはほとんど感染力がないため、かぜ症状のある人はこまめな手洗いや、せきやくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等でおおうなどの「咳エチケット」を心がけることが大切です。

*詳しくは[こちら](#)をご覧ください

『レプトスピラ症』に気を付けましょう

○レプトスピラ症は人畜共通感染症です。ネズミなどの野生生物や家畜、イヌなどが保菌状態となり、尿中に菌を排出します。汚染された水や土壌、あるいは尿がヒトの皮膚の傷、粘膜を通して感染します。また、汚染された水や食物の飲食による経口感染もあります。

○雨が降ったあとの河川や池などの水環境、野生動物が生息する畑周辺などは注意が必要です。

○県内の河川で遊泳等した方が感染し発症するケースが増えています。*詳しくは[こちら](#)をご覧ください

■ 感染症の発生動向 1類～5類（全数把握）

		県全体	うち中部
1類	なし		
2類	結核	4	2
3類	なし	2	0
4類	レプトスピラ症	2	1
5類	後天性免疫不全症候群（H I V感染症を含む）	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0
	水痘（入院例）	1	0
	梅毒	3	0
	百日咳	2	0

■ 感染症の定点当たり報告数

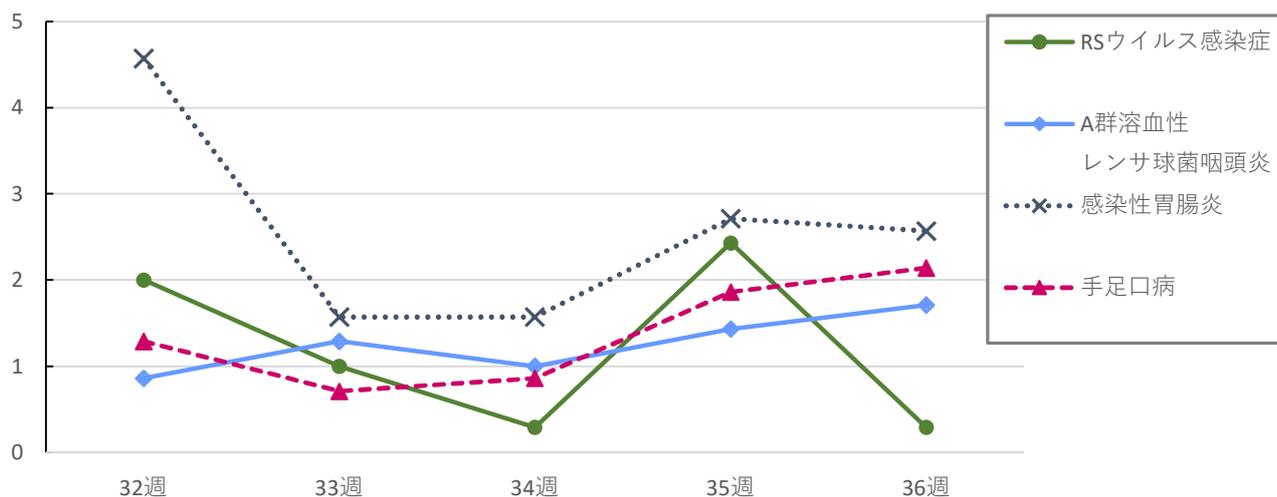
※直近5週間で報告された感染症のみ

	32週		33週		34週		35週		36週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	3.15	3.93	3	3.64	4.46	2.76	2.69	2.29	6.15	3.16
RSウイルス感染症	2	1.68	1	1	0.29	0.8	2.43	1.12	0.29	0.24
咽頭結膜熱	1	0.4	2.14	0.64	1.14	0.68	1.43	0.56	0.86	0.92
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	0.8	1.29	1.08	1	0.84	1.43	1.24	1.71	1.28
感染性胃腸炎	4.57	4.84	1.57	2.76	1.57	4.76	2.71	3.76	2.57	4.28
水痘	0.29	0.12	0.14	0.12	0.57	0.44	0.14	0.12	0.29	0.2
手足口病	1.29	0.92	0.71	0.52	0.86	0.68	1.86	1	2.14	1.6
伝染性紅斑	5	2	2.43	1.16	2.86	1.56	3.29	1.44	3	1.52
突発性発疹	0.71	0.44	0.57	0.36	0.57	0.4	0.57	0.4	0.86	0.44
ヘルパンギーナ	0.29	0.2	0.57	0.28	0.29	0.2	0.14	0.28	0.43	0.44
流行性耳下腺炎	0	0.08	0	0	0.14	0.12	0	0.04	0	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.22	0	0	0	0	0	0	0	0.11
流行性角結膜炎	1.5	2.11	2	2.78	6	3.67	6	4.89	4	5.11
無菌性髄膜炎	0.5	0.14	0	0.14	0	0	0	0.14	0.5	0.14
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.14
COVID-19	13.46	10.42	8.54	8.42	7.38	8.2	6.92	6.51	5.31	5.49

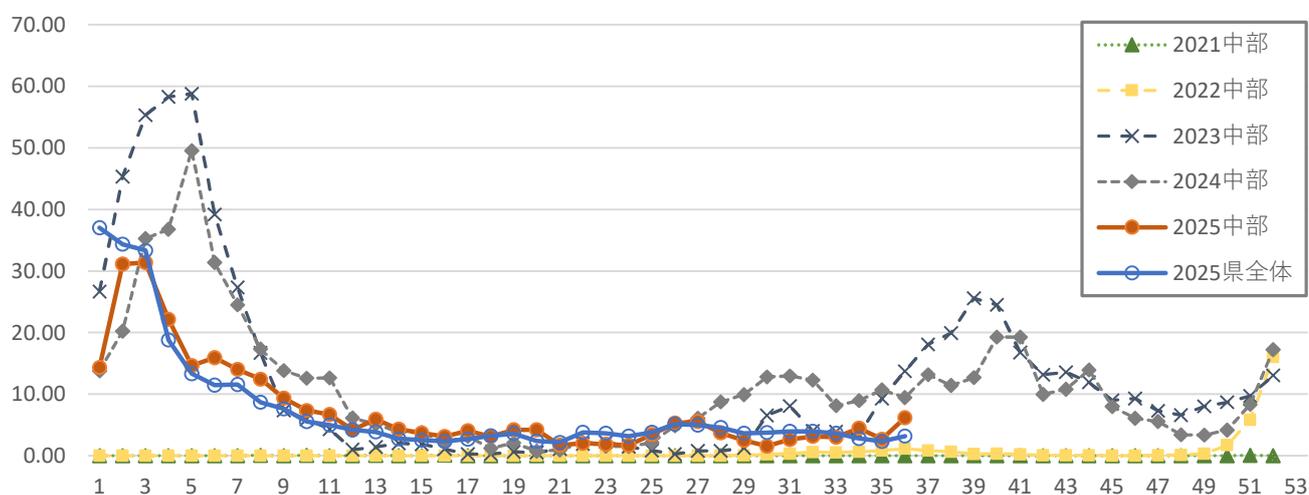
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

